

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 20 日 作成

事務事業名		認可外保育所助成事業			<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	4	みんなで元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部	課長名 青木 洋治
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり		所属課	子育て支援課	担当者名 木部 幹久
	基本事業	58	子育てと仕事の両立支援		所属班	子ども保育班	(内線) 2155
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市認可外保育所事業補助金交付要綱
	1	3	2	3	10576		成果優先度評価結果 : 12 コスト削減優先度評価結果 : 6
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	認可外保育所へ入所している乳幼児の健全育成を図るために、合志市内で保育所事業を行う認可外保育所に対し、補助を行う(事業所内保育所は含まない)。市内に住所を有している入所児童1人につき月額3,000円を補助する。認可保育園には多額の税金が投入されているが、認可外保育園にはそれが無いため、認可外保育園に通園する保護者会等からの要望等もあり実施されることとなった。 旧合志町で、平成11年度より、一人につき月額1,000円の助成で開始された。その後、平成15年度に月額2,000円、平成17年度に月額3,000円と増額された。
【業務の流れ】	①補助金交付申請書(添付:補助対象入所児童名簿・歳入歳出予算書抄本)の受付、審査②交付決定通知書③事業の実施④実績報告書(添付:事業成績書・歳入歳出決算書抄本)の受付、審査⑤補助金交付確定通知書⑥請求書の提出⑦補助金の支払い
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	認可外保育所およびその保護者より、認可保育所の運営費との不公平感があるため、要望等があり実施された。平成14年度から毎年増額の要望があっている。 他の自治体にはない事業なので、実施保育園からは経営的に助かり、よりよい保育が出来るとの声が上がっている。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
4園(延べ899人の児童)に対し2,697,000円の助成を行った。	平成22年度も同様に事業を行うが、対象となる園と定員が少なくなるため、延べ助成人数は減る見込である。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	(単位)
→ ア:認可外保育所助成事業実施園数(事業所内保育所を除く) 園	イ: 園
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
・認可外保育所	ア:認可外保育所数(事業所内保育所を除く) 園
	イ:補助対象となる延べ利用児童数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
・認可外保育所の施設環境を向上させる。	ア:助成事業実施園数 園
	イ: 園
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
平成21年度当初に6つあった認可外保育所が1園は廃園となり、1園は平成22年4月より認可保育園となった。平成22年度当初は4園となり、そのうち1園は年度途中で認可保育園になる見込みである。そのため、認可外保育所全体の定員も少なくなり、同時に補助額も少なくなる見込みである。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込	総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
④ 活動指標	ア 園	5	5	5	5	4	3	3	(期間限定複数年度のみ記載) 0 0 0	
⑤ 対象指標	ア 園	5	5	6	5	4	3	3		
	イ 人	873	1120	1200	899	660	500	500		
⑥ 成果指標	ア 園	5	5	5	4	4	3	3		
	イ 園									
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	2,619	3,360	3,600	2,697	1,980	1,500	1,500
	(A) 事業費計	千円	2,619	3,360	3,600	2,697	1,980	1,500	1,500	
	(A)のうち指定経費	千円	2,619	3,360	3,600	2,697	1,980	1,500	1,500	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
人 件 費	正規職員従事人数	人	4	5	4	4	4	4	4	
	延べ業務時間	時間	70	77	70	57	70	60	60	
	(B)人件費計	千円	278	308	279	227	279	239	239	
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,897	3,668	3,879	2,924	2,259	1,739	1,739	0

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ↷ 6園あった認可外保育園のうち、1園は廃園となり、また1園は新設園で合志在住の児童が少なかったため、補助申請をされなかった。そのため、当初予定していた人数より少なくなった。
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷ 利用人数が極端に減らない限り達成する見込みである。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ この事業は市単独事業であり、近隣市町村で実施しているところも無く、助成額も当初より増額されているので、現状で妥当と思う。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷ 他に類似事業がないため、統廃合・連携はできない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 税金の投入額として、認可保育所の平均運営費一人につき月額約80,000円に対して、認可外保育所は3,000円である。削減余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 助成の手続きとしては、交付申請に伴う審査決定及び支払と実績報告に伴う確定事務という最低限の事務のため、削減余地はない
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 市内在住の入所者に限定していて、県に設置届を提出しており、かつ、入所者を限定する事業所内保育所は対象としていないため、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷ あくまで保育園が行う保育に対する運営費補助である。役割分担は適正である。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

認可外保育所およびその保護者より、認可保育所の運営費との不公平感があるため、要望等があり実施された事業である。他の自治体にはない事業なので、実施保育園からは経営的に助かり、よりよい保育が出来ているとの感謝の声があり、経営的に苦しい認可外保育所に通園する児童の環境改善に一定の成果は見られる。しかし、補助制度も10年近く経過し、補助を受けているということを知らない保護者が多くなった。また、認可保育園に待機児童として入れなかった児童の受け皿となっている傾向もあり、その点を考慮すれば、補助額としては認可保育園と比較すると小額である。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<input type="checkbox"/> 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 革改善案)・・・複 <input type="checkbox"/> 選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 休止 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 補助額を増額したほうが環境改善にはなるが、財政負担が増えるため難しい。現状維持。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

## (3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

市の単独助成事業であり、助成額を増額すると、全額て市の負担となるので、財政状況との検討が必要である。